福祉サービス第三者評価結果

① 第三者評価機関名

有限会社 保健情報サービス

② 施設の情報

名称：車尾保育園	種別：認可保育所			
代表者氏名：園長 森高亜由美	定員（利用人数）：120名（130名）			
所在地：米子市車尾南1-13-13				
TEL：（0859）32-2454	ホームページ： https://yonago-fukushikai.net/index.php?view=5244			
【施設の概要】				
開設年月日：昭和55（1980）年4月1日開設 平成30（2013）年11月園舎全面改修、乳児保育事業開始				
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 米子福祉会				
職員数	常勤職員：18名	非常勤職員	17名	
職員数 専門職員	園長	1名	保育士	14名
	園長補佐（保育士）	2名	調理員	2名
	保育士	12名	保育補助員	1名
	調理師	3名		
施設・設備の概要	保育室	5室	遊戯室	1室
	乳児室（床暖房）	1室	芝生化園庭	1面
	調乳室	1室	プール	1ヶ所
	沐浴室	1室	読書コーナー	2ヶ所
	冷暖房（空調）完備		職員室（兼：医務室）	1室
	相談室	1室	調理室	1室

③ 理念・基本方針

保育理念

笑顔に出会える保育園 保護者と地域とともに

～心身共に豊かでたくましく生きる子どもを育む～

一人ひとりの子どもたちをまるごと受けとめ、安定して生活できる、ぬくもりのある保育園づくりをめざします。

保育方針

- ・未来をたくましく生きる力の基礎を身につくよう、子どもたちのことを第一に考え保育を行います。
- ・きめこまかい愛情で子どもたちに寄り添い、一人ひとりの個性を大切にし、子どもたちの可能性を広げるよう、保護者、地域と連携し、協力を得ながら保育を行います。

- ・養護と教育の一体保育を行い、年間計画を基に様々な体験を通して自然や物事に対する関心、体を動かすことの喜びなど、伸びやかで、豊かな心や考える力を育みます。
- ・子どもたちの健康と安全を保障し、安心して生活できる快適な環境づくりに努めます。
- ・子どもの人権に配慮し、命の尊さや自分を大切にすること、人を大切にすること、感謝の気持ちをもつことなど、共に生きる心を育てます。
- ・食育を通して、からだづくりの基本である食への関心を養います。

保育目標（車尾保育園）

身近な自然環境をいかし、たくましい体と心を育む
 ～一人ひとりを大切に共に育つ仲間づくりを目指して～

めざす子ども像

- ・元気よくあいさつができる子ども
- ・しなやかでたくましい心と体をもった子
- ・自分と友だちを大切にし、助け合う子ども
- ・自分で考え行動できる子ども
- ・思いを伝え合い、互いに認め合える子ども

④ 施設の特徴的な取組

社会福祉法人米子福祉会の10園の中の1園として、1980年（昭和55年）に認可され、保育サービスの施設運営が実施されています。

平成30年12月に改築された鉄筋造りの2階建ての新園舎は、木の香りで癒される園舎となっており、玄関のバリアフリー、乳児室と1・2歳児の保育室は床暖房、多目的トイレを備え、室内、廊下は温かみを感じられる園舎となっています。

法人の経営理念及び保育理念に基づいた園独自の基本方針、保育目標を掲げ、「めざす子ども像」等、子どもが未来をたくましく生きる力の基礎を身に付けるための基本的生活習慣の習得に加え、保育指針に基づき、「養護と教育の一体保育」の実践に向けた保育の見える化（ドキュメンテーション）と合わせた取組みに法人10園で積極的に取組まれています。

子ども達は、リトミック、絵本読み、異年齢交流、おはなしひろば絵本読み聞かせの会（年長・年中児）等の養育や芝生化された園庭で、子ども達がノビノビと身体を動かすことができる環境整備が行われています。

地域の公民館の公民館祭、子育てサークル等との交流・参加及び車尾小学校との交流が行なわれ、中学校校区では生まれてから義務教育を終える15年間をどのように係わっていかかの指針となる「人権教育15年プラン」のもと、幼保小中学校で連携を取りながら一人ひとりを大切に、共に育つ仲間づくりに取組まれています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年6月18日（契約日）～ 令和7年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和1年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

○保育理念及び保育方針に基づいた事業計画目標が策定され、全体的な計画に沿った指導計画がクラス単位に作成されています。

月・週案の振り返りを行いながら、評価・見直しが実施され、職員間の連携を取りながら保育の質の向上を目指した取り組みが行われています。

○法人本部が中心となり運営方針を定め、経営分析・実施状況を把握し、課題に対しての改善策を10園の検討員会で検討されています。

定期的な各種マニュアルの改善・見直しも行われています。

○法人本部による経営管理、課題改善対策や組織的な管理能力強化、各種マニュアルの改善・見直しや職員への共有による適切な組織運営の実施等により、第三者評価項目の全てに対するレベル向上が図られています。

○子ども・子育て支援新制度や新保育指針に基づき、法人10園で「養護と教育の一体保育」が体系的に整理され、養育内容・行事等を玄関ボードに掲載しておられます。

特に、養育のドキュメンテーション（保育の見える化）の取り組みが工夫されています。

○小中学校との地域交流事業や公民館行事への交流・参加による子ども達が小学校入学への見通しが持てる取り組みが行われています。

○基本的な生活習慣の習得は、食育指導と連動させ、食事のマナーや地域食材を活かした美味しく楽しく食事を行うことの大切さや伝統食や季節料理等を取入れた取り組みが行われています。

○園の研究テーマ「ドキュメンテーションを通して見えてくる子どもの姿」の研修を毎月全体職員会で行ない、保護者に向けて「保育の見える化」に取り組み、保育の内容を言語化していくことで、保育士が自らの保育のねらい及び方法についての考察を深め、保育の質の向上に向け、職員が一つになって取組まれています。

○ヒヤリハット事例に基づく検討を重ね、改善策の周知徹底を図ることで安心、安全な保育を実践されています。

◇改善を求められる点

●現在も取組まれている職員一人ひとりの人材育成に向けた取組み（職員の知識・技術スキルや接遇の向上）を今後も充実させ継続的に実施されることに期待します。

●職員一人ひとりが働き甲斐、達成感や誇りが持てる魅力ある職場となるよう働き方改革にも取組んでおられます。今後もチームで協力し合った保育の実施に向け継続的に取組まれることに期待します。

●幼児期の基本的な生活習慣の習得から小学校への就学までの養育（10の姿）に関する保育の見える化（ドキュメンテーション）と連動した取組みの更なる充実を行い、保育園の役割と家庭での役割等を理解頂けるよう、「養護と教育の一体保育」の更なる促進に向けた取組みに期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受けることで、自分たちの保育を振り返り、新たな課題を職員間で共有する良い機会になりました。ご指導していただいた個所や保護者の方からいただいたご意見を真摯に受け止めていきたいと思っております。今以上に保育も質を高めつつ、改善していくところは、職員でしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

今後も保護者や地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、地域に愛される保育園づくりを目指してまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

平成27年度より判断基準(a、b、c)の考え方が、「よりよい福祉サービスの水準へ誘導する基準」となるよう以下のように変更になりました。

「a」 より良い福祉サービスの水準（質の向上を目指す際に目安とする状態）

「b」 「a」に至らない状態、多くの施設・事業所の状態（「a」に向けたと取組みの余地がある状態）

「c」 「b」以上の取組みとなることを期待する状態

第三者評価結果（保育所）

共通評価基準（45項目）

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p><コメント></p> <p>米子福祉会の理念・方針に基づいた園としての保育目標、保育方針が明文化され、園内掲示、ホームページへの掲載、パンフレット、園だより等に記載され広く周知されています。</p> <p>職員に対しては、4月の全体職員会で説明し、各個人ファイル、クラス用確認ファイルに入れて、いつでも確認出来るようにしておられます。</p> <p>保護者に対しては、入所説明会で説明、保護者総会資料、入園のしおり、玄関掲示、保護者意向調査にて周知が図られています。</p> <p>コロナ感染症感染予防のため今年度も保護者総会は中止されましたが、春の親子遠足の際には説明が行われました。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p><コメント></p> <p>研修会や内閣府、子ども家庭庁のホームページ等から国の動向の情報を得て、法人事務局・園長会・中長期計画策定委員会等で、保育事業を取り巻く環境変化及び経営状況(利用人数、稼働率の把握、コスト削減等)が把握・分析され、改善対策や新たな施策等を事業推進に反映する等の取組みが行われています。</p> <p>地域のニーズに対応出来るように、今年度（令和6年）利用定員数を110名から120名に増やされました。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
<p><コメント></p> <p>事業を取り巻く環境及び経営状況等は、園長より職員会議等で職員全体への改善すべき点、改善方法を伝え、協議されています。</p> <p>現在の経営課題としての「人員不足の問題」については職員の給与面の処遇改善が行われ、また、</p>		

早番・遅番をする事に対して給与面の処遇改善も図られました。

人材確保に関する計画は全職員に周知され、意見を集約しながら見直しを図っていく体制が整えられており、職員からの紹介制度も行われています。

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>米子福祉会の経営理念・基本方針に基づき、法人本部が中心となり中長期計画は園の現状や地域のニーズなどを分析し、具体的な問題点の解決に向け各園で策定されています。</p> <p>具体的な目標については、進捗状況を確認され定期的に評価し分析が行なわれています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>中・長期計画の経営目標や園運営に関する環境整備計画に基づき、当園の単年度の事業計画が策定されており、毎月の事業運営の実施状況（事業報告等）成果・分析等による進捗管理が行われています。</p> <p>子ども達や保護者の満足を図り、保育の質を向上させ、園を選択して頂けるよう各計画を立案が行われています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p><コメント></p> <p>事業計画は前年度の振り返りや反省に基づき作成されており、収支計画においては本部による月々の分析をもとに見直しが図られています。</p> <p>前年度末の園の自己評価で振り返りの機会を持ち、クラス会議でまとめられた職員の意見も取り入れられた事業計画が策定されています。</p> <p>自己評価年間計画に基づき、計画的に事業の実行状況を振り返り、次へ生かす取組みが行われています。</p> <p>事業計画の説明は年度初めの全体職員会で行ない、周知が図られています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p><コメント></p> <p>基本的には保護者会総会にて総会資料に添付した事業計画をもとに説明し理解を促されています。</p> <p>また、入所説明会、入園式、遠足、保育参加日等に於いても機会がある毎に、周知や説明が行</p>		

われています。

新しい取組みに関しては、その都度、文書、掲示、コミユニティで写真も入れ分かりやすく説明し、ドキュメンテーションでも掲示され、理解及び参加を促されています。

今年度より新しい企画として、半日保育士体験「保育士になりませんか？」を開始され、保護者とわかり合えるよう、特に注目してもらいたい点を見てもらえるよう工夫をされています。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p><コメント></p> <p>クラス会議、職員会議等で計画案を検討し、実施後の評価反省を次に生かす体制を整えられています。</p> <p>月に一度、全体職員会を開き、園の研究テーマ「ドキュメンテーションを通して見えてくる子どもの姿」の研修を行い、保育の質の向上に向けた取組みが行われています。</p> <p>法人独自の内部研修、10園合同の年齢別研修等で意見交換等が実施され、研修後は振り返りシートが作成される等、職員一人ひとりのスキル向上の取組みが計画的に実施されています。</p> <p>第三者評価も定期的に受審されています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p><コメント></p> <p>自己評価をもとに職員会などで課題を共有し、改善策を検討が行われています。</p> <p>ヒヤリハット事例検討などで必要な課題を明確にし、改善策を検討されています。</p> <p>園児数増加に伴い職員数も増加しておられるため、職員の共通理解という面において不十分な面を感じておられます。</p> <p>特にパート職員に対しても、主に会議録の供覧が行われています。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>業務分掌表、業務分担表は文書化し役割を明確にされています。</p>		

<p>園長は年度初めの全体職員会において運営方針や自らの役割と責任について組織図を基に表明されています。</p> <p>保護者に対しては、保護者総会や春のバス遠足の際に役割や責任について説明が行われます。</p> <p>事業継続計画（BCP）の策定も行われており、有事の際の園長の役割や不在時の権限委任も災害時役割分担表で明確にされています。</p> <p>今年度、連絡網、役割分担についての変更が行われました。</p> <p>地域とも積極的に関わられ、公民館、車尾小学校、東山中学校等への行事にも積極的に参加や交流が行われ、保育園が目指す保育への理解に向けた取組みが実施されています。</p>		
11	<p>Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	b
<p><コメント></p> <p>保育制度の動向及び関係法令、リスクマネジメント等の研修に積極的に参加し、法人会議や園長会議でも情報の共有化を図りながら、遵守に努めておられます。</p> <p>園長が研修で得た知識を基に園内研修の実施、研修報告供覧等を行い、職員への周知が図られ、各種法令について理解し、日頃の業務及び運営に活かされています。</p> <p>園長は研修や勉強会に積極的に参加されていますが、環境への配慮等、幅広い分野の法令への理解が十分ではないと感じておられるようですので、今後環境への配慮等のSDGsへの取組みについても検討されるよう期待します。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>毎朝、玄関でのあいさつ運動をされ、子どもや保護者の様子、職員の状態を確認されています。</p> <p>園長として全体を見渡せる立場として客観的に園の強み、弱みを見つけられるよう心掛けておられます。</p> <p>各クラスの保育の見える化など保育の質の向上につながる具体的な体制を構築されています。</p> <p>職員には個人懇談を通して、保育に関して具体的な取組みの課題や改善策について相談を受ける体制を取られています。</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>保育目標の達成に向け、自己評価をもとに、職員会議での助言・指導が行われています。</p> <p>ドキュメンテーションを進めていくために週日案にも入力され、保育の質の向上につながるよう学び合っておられます。</p> <p>ICT化・事務タイムの確保等を積極的に進め、働きやすい環境作りを取組まれています。</p> <p>園児も職員も多いので少しずつでも効率的に進むよう心掛けておられます。</p> <p>子育て支援員を雇用し、清掃、消毒、子どもの寝かしつけ等してもらい、保育士の負担軽減が</p>		

図られています。

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>福祉人材の採用確保については、広報誌、パンフレット、ホームページ掲載及びハローワークの求人募集、就職説明会等の取組みに加え、育成校で行われる説明会や実習生への声掛け、現職員による保育士紹介制度の取組みが行われています。</p> <p>中長期計画において分析され、今後必要となる保育士数を基に採用計画が立てられています。新卒採用に向け、法人全体の人事制度を見直し、意欲のある人材確保を目指しておられます。定着については、個人面談、意向調書により要望や意見を把握するようにされています。法人全体で、処遇改善や人材育成の充実に取組まれています。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>法人として経営理念・基本方針に沿った「期待する職員像」が明確化されています。</p> <p>人材育成計画に基づくキャリアパス研修や意向調書、個人面談で本人の意向を掴むようにされています。</p> <p>法人の人事基準に基づき、職員一人ひとりの業務実績の振り返り等から総合的な人事評価が実施されており、法人の人事基準については年に1回は職員会で説明されています。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>職員への園長面談（年2回）による就業に関する意見・要望等の把握による就業に関する改善・見直し等の取組みが行われており、園長は法人本部と協議しながら、職員の声は反映できるように取組まれています。</p> <p>職員の就業状況については、有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを把握し、有給消化や時間外管理が行なわれており、有給休暇を取得しやすいようにパート職員を採用しておられます。</p> <p>就業時間内に業務を完了させるための事務タイム、ICT化を図り業務の簡素化に積極的に取り組んでおられます。</p> <p>職員の健康診断、予防接種の実施や育児休暇の3年間取得、時短勤務、子の看護休暇、介護休暇等の整備を行い、働きやすい職場作りを目指しておられます。</p> <p>職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した取組みが行われています。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人として経営理念・基本方針に沿った「期待する職員像」が明確化され、組織として人材育成計画をもとに研修計画を作成し実施されています。</p> <p>職員はキャリアアップ研修やその他の研修終了後、研修復命書や職員会議で報告を行い、研修の共有化が図られています。</p> <p>職員一人ひとりが自己評価後の園長と面談を行い、目標の確認・修正が行なわれ、年度末に面談を行い目標達成度の確認が行なわれています。</p> <p>面談の中で、必要なスキルの習得や希望する研修の把握が行われ、職員一人ひとりの職能（階層別）に対応する研修計画が実施され、必要な人材育成の為のOJTの取組みも行われています。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>職員への「期待する職員像」が明確化され、事業計画において研修の基本姿勢、目的を示し、人材育成計画に沿った教育・育成研修が実施されています。</p> <p>研修後は、職員会議や書類回覧により研修内容等を全職員で共有されています</p> <p>法人組織10園の年齢別会議も開催され、同年齢の養育についての情報交換を踏まえた部内勉強会の実施による共通する課題の改善や対策等が行われています。</p> <p>次年度の研修計画を作成される際には見直しが行われています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p><コメント></p> <p>人材育成計画に基づき、職員一人ひとりの保育経験や知識、技術を把握し、階層別研修、テーマ別研修・職種別研修等の年間研修計画に基づく研修が実施されています。</p> <p>個人の研修履修簿もあり、法人内異動時にも管理しておられます。</p> <p>また、法人独自の新規採用研修、主任保育士部会研修、保育士部会研修、「見える化検討委員会」及び行政からの要請研修等に対して計画的な参加が行われています。</p> <p>年度の階層別の目標達成に向け、職員が希望する研修に積極的に参加できるよう、広く全職員に研修の情報の提供が行われ、研修後は、職員会議での伝達講習や報告書（復命）により、研修内容等を全職員へ共有されています。</p> <p>保健衛生に関しては法人内看護師による園内研修を何度も行ない、全職員のスキルアップが図られています。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<p><コメント></p> <p>実習生の受入れマニュアルが策定され、職員間での実習生の受入れの意義等の共有が図られて</p>		

います。

養成校への実習会議に参加し学校側との連携に努めておられます。

保育現場での業務に携わるための計画的なプログラムに基づいた実習生の受入れ体制を整え、事前のオリエンテーションを踏まえた実習生の受入れの取組みが実施され、実習生にとって実りある実習になるよう努めておられます。

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>保育理念・保育方針、保育目標が、施設内に掲出され、事業運営に関する事業報告等はホームページに載せ、広く情報公開が行われています。</p> <p>パンフレット・園だより等により保護者や地域への情報提供が行われています。</p> <p>事業計画・事業報告・予算・決算情報は本部がまとめたものを一定の期間玄関に置き、誰でも自由に確認できるようにしておられます。</p> <p>地域、保護者等からの苦情に対する改善策等を個人情報に配慮しながら、園玄関のボードに表示や事業報告に掲載する等、情報公開規程に沿った公表が行われています。</p> <p>第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容に基づく改善・対応もホームページで公表されています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>施設経営・運営、財務管理等は法人本部にて統括的に行なわれています。</p> <p>業務分担表にも明示され、職務分担と権限・責任については年度当初職員会で明確となっており、職員にも周知されています。</p> <p>小口現金や保護者から集金したお金の管理やルールが決められ、職員に周知されています。</p> <p>保育所における事務、経理、取引等について法人本部にて毎月チェックが行われています。</p> <p>法人としては公認会計士による外部監査を受け、税理士による指導や相談が行われています。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人の基本方針である「家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力のもとに養護と教育を一体的に行う」に基づき、公民館運営委員会、児童館運営委員会、中学校区人権推進協議会、保幼</p>		

<p>小連携会議へ出席され地域とのつながりを深めておられます。</p> <p>公民館祭、校区運動会、子育てサークル等の行事への参加や小中学校との連携等にも計画的に取り組まれています。</p> <p>また、子ども達や保護者が活用できる社会資源情報や地域のイベント情報等のポスター等を園内掲示板で紹介やパンフレットの配布が行われています。</p> <p>家庭のニーズに応じてファミリーサポートや病児保育などの利用方法について知らせておられます。</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>ボランティア受入れマニュアルに基づいて、受入れ窓口体制を整え、各種のボランティア、学校窓口等と調整を行い積極的に受入れておられます。</p> <p>ボランティア参加者には、オリエンテーションによる園児との交流を図るにあたっての注意事項、プログラム等の説明を行い受入れておられます。</p> <p>4・5歳児に定期的に絵本の読み聞かせ（お話し会）のボランティアに来られています。</p> <p>中学校の職場体験学習、小学校のまち探検の校外学習に積極的に協力されています。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a
<p><コメント></p> <p>保育所の運営に必要な関係機関（医療機関、警察、消防署、保健所、行政、児童相談所、教育委員会、小・中学校、公民館、福祉事務所、要保護児童対策地域協議会等）との連携やネットワークが構築されています。</p> <p>「関係機関連絡一覧」が職員室に掲示され、緊急時についても適切な対応をできる体制が整備されており、職員会等で情報共有が行われています。</p> <p>また、要保護児童や発達に支援の必要な子どものアセスメントでは、関係機関との連携が欠かせないことから園長が窓口となり各機関との密接な連携が図られています。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	a
<p><コメント></p> <p>福祉ニーズの把握活動として、保護者アンケート、地域の公民館運営委員会、児童館運営委員会、中学校評議委員会への参加等による福祉ニーズの把握に努めておられます。</p> <p>地域の子育てサークルへの園開放を行ない、子育ての相談に応じておられます。</p> <p>見学に来られた際、入所への悩みを聞いたり、相談を受けておられます。</p> <p>公民館主催事業の子育てサークルイベントで保育士が手遊びをしたり、環境構成でサーキットなどが行われています。</p>		

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>地域の福祉ニーズを反映した「乳児・低年齢児保育」「延長保育」「障害児保育」に積極的に取組まれ、令和6年度より定員が10名増になりました。</p> <p>地域の安心・安全対策（防犯）の一環として、「こどもかけこみ110番」の取組みや緊急時のAED貸出しも実施されています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>職員の共通理解を深めるため、全職員に個人ファイル（くずもほいくえんBOOK）を配布し、いつでも確認できるようにしておられます。</p> <p>定期的に個人の自己評価やクラスの自己評価を行い、意識を高めるように取組まれています。</p> <p>中学校区人権教育15年プラン（中学校を卒業されるまでの一貫した人権教育）を基に各機関と連携しながら、一人ひとりを大切にし、共に育つ仲間作りに取組まれています。</p> <p>不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き、セルフチェックによる人権擁護研修も行われています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシーに配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもや保護者のプライバシー保護、子どもの虐待防止等の権利擁護についてマニュアルを作成し、職員には年度当初の全体職員会等で周知を図っておられます。</p> <p>マニュアルは「くずもほいくんBOOK」で確認できるようにされており、保育の中での配慮事項に関しては手順書に示してあります。</p> <p>園内外の人権の尊重に関する研修への参加等、子ども・保護者の権利擁護に配慮した取組みも行われています。</p> <p>人権擁護のためのセルフチェックリストも活用されています。</p> <p>入所説明会や保護者会総会を利用しプライバシー保護について説明が行なわれており、各種保育園資料への写真掲示に関する保護者の同意書も得ておられます。</p> <p>子どものトイレの仕切りの設置やプールの着替え等の配慮が行われています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		

30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p><コメント></p> <p>ホームページ、広報誌、パンフレット、入園のしおりで園の保育理念、保育方針、保育の内容等が分かりやすく情報提供が行われています。</p> <p>また、地域の公民館にパンフレット置いてもらい情報提供されています。</p> <p>保育報告書（ドキュメンテーション冊子）を公民館、小中学校等に置き、紹介されています。</p> <p>利用希望者には、年間を通して随時見学を受入れ、入園のしおり、パンフレット等を使用して利用希望者に説明が行われています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更において利用者等にわかりやすく説明している。	a
<p><コメント></p> <p>入園希望者の面談時、入所説明会、入園式、保護者会総会等で「入園のしおり」「重要事項説明書」等を使用し分かりやすく説明し同意を得ておられます。</p> <p>進級時にも園からの連絡だより、クラスだよりを保護者に配布して理解を得るよう取組まれています。</p> <p>保育設備の整備や、業務運営の改善、見直し等についても玄関の掲示や園だよりで保護者に周知し同意を得るようにされています。</p> <p>保育の 利用に関わる全ての 変更点について随時、保護者に手紙の配布や玄関掲示を通して周知が図られています。</p> <p>配慮が必要な保護者に対しては個々に応じて対応されています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>転園される場合は、保育の継続性に配慮し、法人で統一された書式の園児引継ぎ書を保護者に確認して頂き同意された場合には、転園先に送られています。</p> <p>保育所の利用が終了した時には、その後の相談方法や担当者について説明され、いつでも連絡してもらえることを伝えられています。</p> <p>要保護児童の場合は、要保護児童対策地域協議会及び関係機関との連携による適切な引継ぎが行なわれます。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>運営に関しての変更点や新たな試み等は、保護者会役員会で保護者の意見を聞き決定されています。</p> <p>ドキュメンテーションを毎日保護者に発信することで、保護者に対して園の保育に対して満</p>		

<p>足・安心が提供できるよう心掛けておられます。</p> <p>保護者への満足度を把握するためのアンケートを実施され、分析・検討会を行ない課題の改善に取り組まれています。</p> <p>登降園時の保護者とのやりとり、連絡帳、個人懇談（年1回、年長児は2回）、相談には随時応じ満足度を把握するようにされています。</p> <p>未満児は特に連絡帳での保護者との情報交換を大切にしておられます。</p> <p>子ども達の満足度は日々の保育の中で確認されています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>苦情受付マニュアルが作成されており、苦情相談体制（受付担当・解決責任者・第三者委員等）も構築されています。</p> <p>保護者に対しては、入園時に入園のしおり、重要事項説明書で苦情解決相談窓口について説明が行なわれています。</p> <p>苦情の対応については、申し出た利用者に不利益ならないように環境等配慮し、玄関掲示などで保護者により広く周知を図っておられます。</p> <p>また、苦情受付記録簿に苦情対応（内容、改善対策等）の記録が法人本部に報告され、法人組織10園全体が共有した苦情に学ぶ運営改善の取組みが行われています。</p> <p>意見箱を設置され、いつでも利用できるようにされています。</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>入園のしおりや玄関掲示で知らせ、玄関には意見箱も設置してあります。</p> <p>どの職員でも相談して頂けることを保護者に伝えられています。</p> <p>相談や意見は主にコミュナビ（連絡ノート）や担任や園長へ直接に言ってこられる保護者の方が多いようです。</p> <p>2階の相談室で周りを気にせず相談ができるようになっていきます。</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	a
<p><コメント></p> <p>苦情解決マニュアルが整備されています。</p> <p>担任は送迎時に声を掛け、いつでも相談にのれる体制を取られています。</p> <p>また、必要に応じて定期的な懇談以外の面談も行われています。</p> <p>小さな相談や意見でも、すべて園長に報告されています。</p> <p>相談内容によっては、職員会で検討したり、迅速に対応できるように心掛けておられます。</p> <p>担任だけで解決できない相談は、園長補佐・園長へ相談する仕組みになっています。</p> <p>また、苦情・相談の回答等に時間を費やす場合は、保護者へ回答の遅れる旨の連絡等が行われ</p>		

<p>ています。</p> <p>保護者からの苦情や意見・要望等に対する検討結果等は、職員間で共有が行われ、必要に応じて園内に掲示（必要な場合の保護者同意）する等の公表が行われています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	a
<p><コメント></p> <p>安心・安全な園運営の提供する為に、多様なマニュアルが作成され、それに基づいた職員による毎日の園内安全点検、遊具の安全点検が行われています。</p> <p>事故防止チェックリスト、ヒヤリハット報告書について、ヒヤリハット委員会の点検により、リスクマネジメント体制が整備され、年度当初に体制見直しが行われています。</p> <p>意識して気づき発見したヒヤリハットを検証、職員会等で周知徹底が図られています。</p> <p>改善策・再発防止策は迅速に検討され、周知徹底する方法が構築されています。</p> <p>職員のリスクマネジメント研修への参加による安心・安全な園運営の取組が行われています。</p> <p>救急救命講習が実施され、緊急時における職員の救急救命の初動が適切に行われるための取組が行われています。</p>		
38	<p>Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p> <p>感染症予防マニュアル・食中毒予防対応マニュアル・嘔吐物処理マニュアルに基づき、感染拡大予防対策等、各保育室・事務室に掲示する等、感染症予防・発生対策が行われています。</p> <p>感染症予防・対応マニュアル類の見直しを定期的に行っておられます。</p> <p>入園のしおり、重要事項説明書等にも、感染拡大を防ぐために快復後の登園基準（保護者へのお願い）が示され、体制整備や対応の取組が行われています。</p> <p>感染症発生時や流行時には、玄関ボードへの掲示版でのお知らせや保健だより等で予防対策や発生状況等の情報提供が保護者に対して行われています。</p> <p>更に、ホームページの掲載、園だより、保健だより等で感染症の発生状況や予防対策等を保護者に情報提供が行われています。</p> <p>看護師による嘔吐処理研修、感染拡大予防のための園内研修が行われています。</p> <p>流行時にはコミュナビのメール送信や掲示で保護者へ情報提供し感染拡大を防ぐための協力をお願いされています。</p> <p>感染症発生時には感染症対策レベル表に従って消毒等の対応が行われています。</p>		
39	<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	a
<p><コメント></p> <p>各災害の対応マニュアルに基づき、災害を想定した毎月の避難訓練を行ない、評価反省を次につなげられています。</p> <p>2時避難先の東山中学校とは水害時の合同訓練が行われています。</p>		

災害時の保護者に対する情報提供を行うための連絡システム（緊急連絡：安否確認）を活用し、定期的な緊急時対応のテストメール（コミュナビ連絡メール等）が実施されています。
自然災害に対する事業継続計画（BCP）の策定も行われています。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>保育理念・基本方針に基づいた保育業務手順書、乳児保育業務手順書について年度当初の全体職員会で周知が行われています。</p> <p>職員全てに「くずもほいくえんBOOK」が配布され、必要な資料を職員一人ひとりが整理・追加する等、事業の適切な運営に向けての取組みが実施されています。</p> <p>また、子どもの一人ひとりの発達状況に応じた指導計画書の作成による一人ひとりの子どもに応じた保育が展開されています。</p> <p>個別な支援が必要な子どもには職員間での情報共有が行われています。</p> <p>プライバシーの保護など職員に周知徹底されています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p><コメント></p> <p>業務マニュアルについても年度末に見直す仕組みが構築されており、年度末の保護者アンケートの収集や年間の苦情受付記録の意見・要望も反映する取組みも行われています。</p> <p>自己評価・クラス会議・実施記録の見直し、検討、改善という流れが確立されています。</p> <p>個々の支援についても変更した場合には情報共有が行われています。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p><コメント></p> <p>入園前に保護者へ聞き取り、一人ひとりのアセスメントに基づく指導計画が作成されています。</p> <p>全体的な計画に基づき、指導計画を策定されており、責任者は各クラスの主担当が行っておられます。</p> <p>また、実施計画通りに保育が行われているか確認する仕組みが整えられています。</p> <p>支援の必要な子どもに対しては、子どもと保護者の具体的なニーズをもとにした個別の支援計画を作成されています。</p> <p>また、障がい児保育に関しては、療育センター、子ども相談課の発達相談、巡回相談等連携され、支援の必要な家庭については、場合によって家庭児童相談室、児童相談所、家庭支援センターと連携しながら、子どもと保護者の具体的なニーズをもとにした個別の支援計画が作成されて</p>		

います。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p><コメント></p> <p>指導計画については、クラス単位で毎月末、評価・見直しをしたものを、園長、園長補佐が確認して必要に応じ指導、助言しておられます。</p> <p>見直し事項については、職員会議で報告されます。</p> <p>0歳児については、調理員（離乳食の進め方、アレルギー対応）等、関係職員も含めて週単位で個別の指導計画を見直しておられます。</p> <p>個別指導計画の緊急な変更の必要性がある場合、時期に関係なく見直しが行われています。</p> <p>期ごとの評価反省、また年度末の評価反省をもとに次年度の指導計画が作成されています。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
<p><コメント></p> <p>法人全体の様式が統一化されており、記録は保育業務の簡素化が図られているなか、タブレット等も利用し効率的に進めておられます。</p> <p>保育日誌の記録はクラス単位で見直し後、クラスの状況、子どもの状況を職員会議の場で報告し、職員間での共有が図られています。</p> <p>園長補佐が主となり記録の書き方に差異が生じないように指導されています。</p> <p>新人職員は研修、他の職員に対しては要点を押さえた記述になっているか確認されています。</p> <p>月の指導計画・日案、週案の記録等は効率化を目指しICT化を導入され取組んでおられます。</p> <p>個別のケース検討会の内容は、職員会議録に記載し、パート職員も供覧して全職員への周知徹底が図られています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定が定められています。</p> <p>各種の情報資料は、施錠できる書庫等への保管を徹底し、書類の処分は法人による書類保管年数指定に従い、年度末あるいは随時処分されています。</p> <p>個人情報に関するマニュアルを整備し、個人情報の漏えい等、職員は情報保護の重要性を認識されています。</p> <p>職員は採用時に個人情報保護に関する誓約書に署名し、本部に提出しておられます。</p> <p>保護者に対しては、入所時に個人情報の取り扱いについて説明を行い、年1回意向を確認し同意を得るようにされています。</p> <p>入園時に園だより等への写真の掲載についての許可も保護者より得ておられます。</p>		

内容評価基準（20 項目）

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-①保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a
<p><コメント></p> <p>保育理念や保育方針、目標に基づき、クラス担任から挙げられた年齢別の計画を園長、園長補佐で確認され全体的な計画の作成が行なわれています。</p> <p>年度末保護者アンケートを行い、家庭の状況や、保護者の思いを把握し、また、年度末の当園の全体的な計画に対する自己評価や園評価を基に、新年度の全体的な計画の見直しが実施されています。</p> <p>生活・発達の連続性を考慮して年度末に定期的に見直しが行なわれています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体展開		
A②	A-1-(2)-①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような環境を整備している。	a
<p><コメント></p> <p>必要に応じて冷暖房・除湿器・加湿器を活用し、換気をしながら快適な湿度・温度が保たれています。（0・1・2歳児クラスは床暖房完備）</p> <p>活発に動けるスペース、ゆっくりと静かに絵本を読めるスペースが整備されています。</p> <p>芝生化された園庭があり、遊具も使いながら、子ども達が遊べるようになっています。</p> <p>近隣の公園へのお散歩等で自然に触れながらの保育も展開されています。</p> <p>衛生管理マニュアルに基づき、毎週金曜日には布団の持ち帰り、全園児はペーパータオル使用、室内消毒、玩具の消毒が行なわれ清潔にされています。</p> <p>トイレ掃除は手順に従い、清掃を行ない、消毒チェックをされ清潔にされています。</p> <p>危険個所の確認をして改善されています。</p>		
A③	A-1-(2)-②一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人の目指す保育理念に基づき、一人ひとりの受容を心掛けておられます。</p> <p>子どもの発達過程や状態を把握し、一人ひとりに合った言葉掛けや対応に努めておられます。</p> <p>子どもの気持ちに寄り添い、子どもの人権を尊重しながら言葉掛けをされています。</p> <p>発語が十分にできない子どもには気持ちを汲んで接しておられます。</p> <p>チェックリストで振り返りを行ない、結果から園長が話しをされています。</p> <p>不適切保育に関する研修を通して、保育者の関わりについて個々が研鑽を積むように図られています。</p>		

A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>年齢の発達表を確認し、一人ひとりの育ちを把握しながら必要に応じて介助されています。</p> <p>子ども達のやろうとする気持ちを引き出し、基本的な生活習慣が身につくよう働きかける保育を家庭と協力しながら進められています。</p> <p>園ではここまでできましたと伝えるなど連携が図られ、子どもの生活習慣やマナー等発達過程に沿った家庭支援が行えるよう園だより、保険だより等でアドバイスが行われています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p><コメント></p> <p>年齢に応じて子ども達のつぶやき、発想に耳を傾け、必要な援助が行われています。</p> <p>保育者が環境を整えるのではなく、子ども達が自ら遊びを見つけて遊び込めるような環境を整えられるようにされています。</p> <p>隣接している東山公園に散歩に行き、交通ルールを学ばれ、自然を感じられています。</p> <p>保育園での毎月の異年齢交流（にこにこデー）を行なわれたり、近隣の保育園との交流や小学校の「秋見つけ」の授業に参加されたり、いろいろな経験の機会を設け、公民館活動にも参加され地域の人と関わっておられます。</p> <p>また、活発に動けるスペース、ゆっくりと静かに絵本を読めるスペースが整備され、生活の中での静と動のバランスを考慮した子どもが主体的に自分で選んで遊べる環境が整備や工夫が行われています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>事業計画は前年度の振り返りや反省に基づき作成されており、収支計画においては本部による月々の分析をもとに見直しが行われています。</p> <p>前年度末の園の自己評価で振り返りの機会を持ち、クラス会議でまとめられた職員の意見も取り入れられた事業計画が策定されています。</p> <p>自己評価年間計画に基づき、計画的に事業の実行状況を振り返り、次へ生かす取組みが行われています。</p> <p>事業計画の説明は年度初めの全体職員会で行ない、周知が行われています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳児未満（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>自我の育ちを大切に、個別の指導計画案に元づき、発達や個人差に応じた関わりが行われています。</p>		

次年度につながるような保育環境を整え、一人ひとりの成長に合わせた関わりを心掛け援助が行われています。

家庭と連携し、心身ともに健康に過ごせるようされています。

送迎時での関わり、見える化、コミュナビでの連絡帳（個別の写真の添付）、保護者用のパスワードを入力できれば動画を見ることも可能です。

また、個人懇談などで保護者との連携を図り、職員間で情報を共有されています。

A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳児以上の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
----	---	---

<コメント>

3歳から6歳までの発達を抑え、全体的な計画、年間指導計画、月案等を基に一人ひとりの発達や育ちに応じた保育が進められています。

保育士等と一緒に遊びや活動を楽しみ、子どもの興味関心やつぶやきを大切に捉え、保育環境を整え、主体的に遊び込むことができ、友だちとの関わりが広がり、集団での遊びや活動に意欲的に取り組み、力が発揮できるよう行われています。

日々の保育をドキュメンテーションによる見える化し、保育のねらい、内容等を保護者へ伝え遊びの中での学び・幼児期の終わりまでに育てほしい10の力の姿へのつながりへの理解を深めておられます。

米子福祉会10園の保育報告書「遊びの中で子どもは育つ」の冊子を地域（公民館・小学校・中学校）に配布し、連携が図られています。

東山中学校区の保・幼・小・中の研修会に参加され、情報交換が行われています。

接続カリキュラムを通し、小学校との連携が行われています。

A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
----	---	---

<コメント>

発達障がいを持つ子には加配保育士がつき、個別の指導計画を作成し、それに沿った保育や対応が行われています。集団の中で一緒に過ごすことが難しい時は個別の時間を持つ配慮をされています。

療育センターにも通っておられるので、定期的に連絡を取り、連携が図られています。

障がい児加配職員を中心に研修を行ない、知識や情報を得ておられます。

保護者には安心して預けてもらえるようコミュニケーション作りを心掛けておられます。

安心して生活できる保育環境として、園内のバリアフリー化、多目的トイレの設置、エレベーター等が整備されています。

A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
----	---	---

<コメント>

早朝・夕方の延長保育が行われ、保育士間の引継ぎ情報記録（伝達記録簿）を作成され、他クラスとの情報交換、共有を行ない引継ぎが行われ、登園時から降園時までの1日を通した連絡事項が記録に基づき保護者に伝わる仕組みとなっています。

<p>玩具は3歳以上児用と未満児用に分けており、同じ玩具でも形状によって、年齢毎に分け安全に過ごせるようにされています。</p> <p>アレルギーの子どもにも対応できるおやつを提供されています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>クラス担任により、就学前の児童の一人ひとりの保育所児童保育要録及び支援シートが作成され小学校へ適切に届けられ、引継ぎや連携が行われています。</p> <p>個人懇談やクラス懇談を通して年長の保護者に就学への不安などの思いを聞かれる機会をもたれています。</p> <p>中学校区の保・幼・小の連携の会で情報交換を行ったり、校長会との意見交換会や合同情報交換会に参加されています。</p> <p>コロナ5類移行後には、小学校の校長先生が園に子ども達の様子を見に来て下さっています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>健康管理マニュアルを作成され、一人ひとりの子どもの健康状態や集団での様子を丁寧に確認し、保育者で健康面を共有したり、保護者にもこまめに伝達されています。</p> <p>看護師が配置されていますので、緊急時等にも対応されています。</p> <p>保健だより等で感染症の有無や子どもが危険となる病気や状態を保護者に発信されています。</p> <p>SIDSのチェックにはタイマーを使用し、呼吸の状況を一人ひとり確認してSIDSチェック表に記入されています。(0歳児5分、1・2歳児10分)</p> <p>AEDの研修、救急救命講習を受けたり、嘔吐処理の園内研修が行われています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>内科診断(年2回・新入園児年3回)、歯科検診(年1回)、耳鼻科検診(年1回)、尿検査(年2回)等が行なわれ、結果については、職員間で共有し、保護者に口頭と文書で知らせておられます。また、受信の必要な子どもの受信勧奨も行われています。</p> <p>園から気にかかる子どもについては、保護者と連携され、米子市の乳幼児健診の結果も教えてもらっています。</p> <p>園での歯磨き指導は3歳から行われています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対して保護者と連携を取りながら、医師の指示書(保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表)をもとに日々の食材チェックを行い、食器・トレイ・提供者のエプロンを変え、除去食の提供が行われています。</p>		

<p>アレルギー予防マニュアルに沿って、全職員で共有し保育士と調理員で確認して提供されています。</p> <p>看護師によるエピペンの使い方の研修も行われており、散歩に行かれる際には携行されています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p><コメント></p> <p>食育指導計画をもとに年齢に応じた食事指導に取り組んでおられます。</p> <p>子どもの食事摂取量の個人差や体調については調理員と相談しながら食事を提供されています。</p> <p>給食サンプルを見ながら親子で会話したり、給食だよりを配布されています。</p> <p>園で野菜を作り、季節の食材を使って調理員と一緒にクッキングをしたり、会食の機会を設け会話を楽しみながら食事ができるような雰囲気作りを心がけておられます。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント></p> <p>食育指導計画があり、赤・緑・黄3色の食品についての話など、調理員と月当番の職員で食育に関係する話をされています。また、会食、クッキングに調理員も参加されています。</p> <p>菜園で季節の野菜を作り、クッキングをして給食に取り入れておられます。</p> <p>献立は市が中心として作成されていますが、米子福祉会独自のメニューが取り入れています。</p> <p>また、来年度からは（令和7年度）3歳以上児にも米飯の提供をされ、完全給食を開始される予定です。</p> <p>調理施設点検、給食消毒チェック等、マニュアルに基づき毎日清掃、消毒を行い管理しておられます。</p> <p>一人ひとりの子どもの体調や発達状況を調理員と情報共有し対応されています。</p> <p>行事食や誕生日献立もあります。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>日々の送迎時、コミュなび連絡ノート保育の見える化で生活の様子を伝えたり、保育参加日、座談会、個人懇談を通じて子どもの成長や育児について共通理解を深める機会を持たれています。</p> <p>各種行事や日常保育の様子については、玄関に設置してあるドキュメンテーションを使ったクラスだよりを随時掲示し保育の意図や内容を伝えておられます。</p> <p>園だより、クラスだより等も活用し保護者等にお知らせされています。</p>		

園でできるようになったことは家庭でもできるように連携が図られています。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>相談室を活用し悩みや困り事等、その都度対応し必要に応じて職員会などで共通理解を図るようになっています。</p> <p>相談を受けた際はカンファレンス記録に記入し、必要に応じて職員会で伝達されています。</p> <p>相談内容によっては園長や専門の方が対応できるよう体制を整えておられます。</p> <p>子育て支援についてのチラシ、案内を配布したり掲示されています。</p> <p>送迎時など積極的にコミュニケーションを図り、保護者との信頼関係を築き、安心して子育てができるよう支援が行われています。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>虐待防止マニュアルを職員で共有し、子どもや保護者の様子を把握され、送迎時の子どもの様子や視診、衣類の着替え時の傷など必要な場合には写真を撮り記録を残され、経過観察をされ様子を見るなど意識をもって対応が行われています。</p> <p>虐待マニュアルチェックシートを活用しての職員研修や虐待防止、子どもの権利擁護等の研修に積極的に参加され、職員会議で研修報告を行い周知徹底が図られています。</p> <p>子ども未来課、児童相談所、子ども家庭相談室等、関係機関との連携を取れるように体制を整えておられます。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>日・週・月案による振り返りの機会をもたれています。</p> <p>福祉会10園で共通の自己評価を作成し、年2回実施され、保育の改善や保育所全体の保育実践につなげておられます。</p> <p>日々の行事は振り返りシートを活用し、職員会、合同職員会で共通理解が図られています。</p>		